

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4161090032		
法人名	社会福祉法人 佐賀キリスト教事業団		
事業所名	グループホーム シオンの園 くつろ樹		
所在地	佐賀市大和町大字久留間3865-1		
自己評価作成日	平成22年 1月 20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojouhou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成22年2月18日	外部評価確定日	平成22年4月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>平成20年(2008)年4月にISO9001(国際標準化機構の認証)を取得し、ご利用者様へのサービスの質の維持・向上に努めています。また、母体施設の経営理念、処遇モットーを柱に、くつろ樹では「家庭的な環境の下で地域住民の方々との交流を図りながら、ご利用者様お一人おひとりが個人の個性や持てる力を大切にし、自分らしく当たり前の暮らしを続けられる場所であるよう努力します。」を基本方針としてかかげ、また、常に笑顔で接し、安心して楽しい生活を送っていただけるよう、ご利用者様の意思及び人格を尊重し、常にご利用者様の立場に立った支援を目標に日々努力しているところです。(現在、新型インフルエンザ予防対策中です)</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>自然が広がる郊外に建つ事業所で、周りは里山や果樹園が広がり、自然や季節の移ろいが体感できる。広い敷地に経営母体の特別養護老人ホーム、介護系サービス事業所と併設して建つ平屋のグループホームで、一歩でも家庭の生活に近づけるよう「皆が家族」という気持ちでケアが提供されている。入居者が出来る事は職員が見守りながらの支援がなされている。ホーム内から遠くの里山やみかん畑が見え、敷地内の大きな桜の木はリビングから花見ができる。広いウッドデッキでは花見や日向ぼっこ・お茶飲みや花火見物などが行われ、季節を感じ自然を楽しむ生活が営まれている。芋掘りや干し柿作り、おはぎや手巻き寿司づくりなどの共同作業が多く計画され、入居者や職員のおしゃべりの声や笑い声がよく聞こえる普通の生活がある。地域住民や民生委員などからなるオンブズマン委員会が定期的開催され、不適合サービスに対応してより良いサービスの提供に努めている。消防訓練には隣家住民が参画し、地域住民への連絡を担当したり事業所にいち早く駆けつけ避難誘導にあたるなどの協力体制が確立している。</p>

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	母体施設の経営理念・処遇モットーを基本に、くつろ樹独自の基本方針、目標を立て、取り組んでいます。また、ISOの品質目標及び事業計画は毎年基本方針を基に作成しています。	母体法人の理念をベースに、地域に溶け込み地域住民と交流する事を意識した事業所独自の理念を作りあげている。職員は、「皆が家族」という意識を持ち、一歩でも家庭の生活に近づけるよう入居者と接している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設と共に自治会・老人会の方々の協力を得て、夏祭り等を開催しています。また、地区行事の案内をいただいた際には積極的に参加しています。	併設事業所合同の納涼夏祭りは子どもから高齢者まで地域住民が多く参加され、地域の夏祭りとして定着しつつある。地域の祭りや季節の行事を通して地域と相互交流する事を心掛けており、入居者と一緒に浮立見物や神社の祭りに参加している。	日々の生活を通じた日常的な地域との更なるつながりが期待される。自治会に入会するなど直接の係わりを持ち、回覧板なども回ってくるような様々な関係作りを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	母体施設の経営企画室において、地域での出張講座を開催しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催中。行事報告、予定、ホーム内での出来事等を報告し、ご家族、民生委員さんのご意見や質問、また、くつろ樹側からの提案等について話し合い、サービスの向上に活かす努力をしております。	運営推進会議は入居者家族や民生委員・行政職員などの参加で2ヶ月に1回開催されている。会議では活動や行事の計画・報告、情報交換など、活発な意見交換が行われている。苦情箱の名称を「みなさまの声」に変更したり、委員からの情報で祭りに参加するなど、出された意見は運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	くつろ樹職員が直接行き来することはありませんが、法人全体としては担当者との情報交換の機会を多く持たれています。	経営母体の法人が行政との窓口になっており、事業所独自では行政の担当者との交流は行われていないが、情報が伝わる体制はできている。問題点や分からないことがあれば法人本部を通して相談できる関係ができています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	代表者及び全ての職員が身体拘束について正しい理解ができるよう、園内研修会等を開催しており、正しい理解のもと身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体拘束をしないケアに取り組んでいる。出入り口は施錠しておらず入居者は自由に行動でき、職員は見守りながら支援している。身体拘束に関する研修会にも積極的に参加し、入居者本人の意思を尊重した言葉遣いをするように心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法に関する研修等への参加はありませんが、「高齢者虐待と思われる行為」についての文書を目の届くところに貼り、常に意識を持ちながら、日々の業務をおこなっています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在1名のご利用者様が成年後見人制度を利用中です。研修会への参加はありませんが、パンフレットの回覧等により知識の向上に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用契約書・重要事項の十分な説明及び退居時にも十分な説明・話し合いの場を設け、ご理解・ご納得いただけるよう対応しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	カンファレンス会議に参加していただき、ご意見を尋ねる機会を設けています。また、年2回無記名でのアンケートを実施しご意見や不満、苦情等を表せる機会を設け、意見等に対しての是正を図っています。	職員は家族や入居者と話す事を心がけ、意見や要望の把握に努めている。重要事項説明書に苦情申立先を明記し、家族に説明している。玄関に「みなさまの声」投函箱を設置し、意見を表せる機会を設けている。頂いた意見は検討され、運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1～2回の個人面談時や毎月の部会等での意見・提案を基に上申しています。	管理者は常に職員の要望や意見を聞くように心掛けている。職員は日々のケアの中で気付いた事を連絡ノートに記入し、運営に活かしている。要望や意見・提案などは法人の部会や法人本部の会議でも報告され、改善に向けた検討がなされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回の人事考課及び人事部での聞き取り調査などをおこない、また、福利厚生にも力を入れておられ、働きやすい環境作りに努められています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間教育訓練計画に基づき、職員の研修参加の機会を設け、知識・技術の向上に努められています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム関係の研修会参加を通じ、同業者との交流の機会を持ち、他施設の状況や情報を収集し、自施設のサービス向上に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	在宅福祉ケアマネ担当者により相談から利用に至るまで、十分に配慮されています。また、利用を開始する段階では、施設内の見学を含め、管理者による面談等を通じ、ご本人が安心してご利用いただけるよう努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅福祉ケアマネ担当者により相談から利用に至るまで、十分に配慮されています。また、利用を開始する段階では、施設内の見学を含め、管理者による面談等を通じ、ご本人が安心してご利用いただけるよう努力しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネにて十分に配慮されています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や後片付け、洗濯物干しや取り込み、洗濯畳み、拭き掃除等、共に行っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やカンファレンス会議、運営推進会議等を通じ、より良い信頼関係を築く努力をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの方々の面会時にはゆっくと過ごしていただけるよう配慮しています。	入居開始時や日々のケアを通じて本人の生活歴や人間関係の把握に努めている。馴染みの美容室を利用したり、友人の訪問や電話を楽しむなど職員は入居者の人間関係を把握して支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係を職員全員が共有し、ご利用者様お一人おひとりの個性を大切にしながら、席順の配慮やトラブルになる前の早めの対応を心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	法人全体の中での取り組みを行っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンス会議や毎日の生活の中で、ご本人の希望や要望を把握する努力をしています。また、何時でもご利用者様主体であることを忘れずに取り組んでいます。	職員は入居者と会話する事を心掛けており、日々の生活の中で情報を得るように努めている。希望や意向を表すことが困難な入居者には本人の立場にたって考えたり、家族の面会時や電話連絡などにより情報を得るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント時やカンファレンス会議、日常の会話や面会時等の会話を通じ、生活歴や今までの経過等を把握するよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人ひとりの現状を充分に把握できるように、毎月の部会等で話し合いを行なっています。また、急な変化等についても職員連絡ノート等により職員間の連絡を密に取り、状態把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月毎にカンファレンス会議を開催し、半年に1度はご家族、ご利用者様に同席していただき、意見や要望等を反映した計画作成に努めています。	入居者や家族から要望を聞き、主治医・担当職員や管理者が話し合っ具体的介護計画が立てられている。職員は日々のケアの中で入居者の変化や異常を感じ取るように心掛け、ケース記録実施表で日々の状況を記録し現状に即した介護計画に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活状況は各ケース記録に記載し、ケアプラン実施状況についても業務チェック表にて記録しています。また、毎月の部会においてもケアプランの実施状況等を協議しながら実践しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時、ご本人やご家族様の要望に応じ、対応できることについては臨機応変に対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア、民生委員さんの訪問、消防署立会いでの消防避難訓練を行っています。夏祭りには地域の警察の協力を得て開催しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご家族の希望があれば、ホーム協力医へ主治医を変更しておりますが、以前からの主治医を希望されるご利用者様に関しては、ご家族を通じ十分な情報交換に努めています。	入居者や家族の意向を大切にし、事業所の協力医の他、入居前からのかかりつけ医の継続受診を支援している。通院などの送迎は、本人や家族の要望に沿って支援している。受診後は病状の把握など家族に報告されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	専従の看護師にて日常の健康管理を行っています。また、急な対応に関しては法人の医務看護課の協力もあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には定期的な病状伺いをおこない、担当医、担当看護師、ご家族との情報交換を密に行いながら、早期退院に向けての話し合いの場を設けていただいています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における指針及び看取りに関する指針を定めており、協力医療機関と共に支援していく体制作りにも努めています。	「重度化した場合における対応の指針」「看取りに関する指針」があり、契約時に本人及び家族に説明が行われ同意を得ている。入居者の状態に合わせて主治医や家族と話し合いを持つ体制ができており、家族と職員・主治医は方針を共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに沿って対応できるよう、周知徹底を行っており、その場での実践に備える努力をしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災自動通報装置、消火器を設置。今年度中にはスプリンクラーの設置を予定しております。また、毎年、消防計画を作成し、昼間・夜間帯での定期的な消防訓練を実施しております。近隣の方にも協力をお願いしています。	法人合同で年2回、事業所独自に年2回で計4回の消防避難訓練・避難誘導訓練が実施されている。火災通報専用電話機や火災通報装置があり、消防署や併設施設との協力体制ができています。夜間も含めて訓練には入居者や地域住民も参加し、地域との協力体制も築かれています。災害に備えて、食料と水は法人内で共同備蓄している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修会、勉強会等を通じ、常に個人の尊厳を重視した対応に心掛けています。	入居者本人の人格を尊重した言葉かけや口調に注意し、入居者の誇りやプライバシーを損ねることのない様配慮している。写真や氏名など個人を特定できるものの取り扱いは特に注意し、外部に出す場合はその都度家族等に確認を取るなど慎重に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人の意思を尊重し、自己決定の存続が図れるような対応を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常にご利用者様主体の生活を心掛け、ご利用者様の立場に立った支援ができるよう努力しています。また、その日、その時の状況により決して無理強いをしない柔軟な対応を心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装や化粧など、ご本人の意思を尊重しながら対応しています。自己決定が困難なご利用者様には、その方に応じた支援を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人の持てる力を活かしていただけるよう、食事の下拵え、おかずの注ぎ分け、後片付けや食器拭き等を職員と共に行っています。昼食は職員も同じテーブルで摂っています。	献立は毎日入居者の希望に沿って決められ、食事が楽しみなものになる様な支援がなされている。食事の下ごしらえ・調理・盛り付け・配膳・下膳・食器洗いなど入居者ができることは職員が見守りながら支援している。入居者と職員は同じテーブルで会話を楽しみながら食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の状態を把握し対応中です。また、ご利用者様の好みの物を誕生会のメニューに加えるなど、個々に応じた対応を心掛けています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で行えるご利用者様には、毎食後の言葉掛けを行い、介助が必要なご利用者様には、個人に応じた対応を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の排泄案内や行動を察知しての排泄案内をおこない、また、自立のご利用者様に関してもトイレ内の確認をおこなうなどして、ご利用者様の排泄状況を把握しながら、その時々状況に応じた支援をおこなっています。	入居者一人ひとりに合わせた排泄の自立支援を心掛けている。排泄チェックシートを活用し、トイレで排泄できるように支援しながらパッドや紙パンツなど本人の必要に合わせて使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、乳製品を食事やおやつの中に取り入れています。便秘傾向にあるご利用者様に対しては、腹部マッサージ等の対応や運動への働きかけをおこない、できる限り、自然排便となるよう心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現在、午後3時半頃より入浴を開始しておりますが、その時々のご利用者様の状況や入浴希望に則した対応を心掛けています。	入浴希望があればできる限り支援するように心掛けている。以前は夜間入浴を希望される入居者もおられ、希望に沿った支援がなされていた。常時3種類の入浴剤を準備し、その日の気分に合わせて選んで頂いたり、職員とのおしゃべりを楽しむ入居者もおられ、入浴を楽しめる支援がなされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の睡眠状態や日中の様子等、ご利用者様の状態把握をおこないながら、ソファへ案内し寛いでいただいたり、場合によっては自室での静養を勧めるなどの対応を行っています。また、できるだけ日中の活性化を図りながら、夜間の安眠に繋がるよう努力しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の説明書は各個人のケースファイルに入れ、すぐに確認できるようにしています。内服変更時には連絡ノート及び健康管理表やケース記録に記録し職員への周知徹底をおこなっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様一人ひとりの生活歴や残存機能を把握し、持てる力を十分に発揮できる機会と場面作り、日々の生活の中での役割を持っていただけるよう取り組み、遣り甲斐や喜びを感じていただきながら生活していただけるよう努力しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の状況や希望に沿って外出ができるよう努めていますが、現時点では、新型インフルエンザ予防対策中であり、ご家族の希望以外の外出は行っておりません。	敷地は広くホーム内から見通しが利く造りで、入居者は自由に戸外へ出て散策している。買物や近隣散歩など入居者が希望されれば職員は同行するなどできる限り支援している。自宅訪問や遠方への外出は家族と連絡を取り合いながら、本人の希望に沿った支援になる様心掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し使えるように対応しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたい時には都度対応中です。また、手紙や葉書が届いた時には、返事を書いていただいたり、電話を入れております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	採光はその日の天候によって障子を閉めたり、よしずを使用するなどの配慮をおこなっています。室温湿度に関しては、1日3回のチェックを行い、快適に過ごしていただけるよう配慮しています。また、季節感を感じていただけるよう、毎月、手作りのカレンダーを貼っております。	居間からは一面に広がる山や木々・果樹畑の景色が見え、居ながらにして季節を感じる事ができる。窓を開けて換気を心がけ、エアコンや加湿器・空気清浄器で温度管理や湿度の調整がなされている。建物は自然光を多く取り込める構造となっていて、光の強さは障子などで調節している。テレビや音楽の音量に気をつけ、心地よい音になる様配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広間のテーブルや周辺のソファ、台所側や廊下のベンチ、暖かい日にはウッドデッキなど、好きな場所で思い思いに過ごされています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた物品や好みの身の回り品の持ちこみについての説明をおこない、ご家族で準備していただいています。また、誕生日プレゼント等で好みの物品を準備し飾るなど、居心地良く過ごしていただけるよう心掛けています。	居室は広くて明るく、車椅子での使用も可能なトイレが備え付けられている。居室には何でも持ち込めるように支援されており、筆筒やテレビ、ミシンやコタツ、位牌などを持参されている入居者もいる。室内は写真や手芸品・カレンダーなどが飾られ、生活感が感じられる居室作りがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個別支援を大切にしながら、個々に応じた対応を心がけ、安全かつできるだけ自立した生活が送れるよう努力しています。各居室にはネームプレート使用。建物自体はバリアフリーとなっています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない